

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
- ・ PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。

点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

マエストロ

ユーザー情報

氏名

住所

ユーザーID

PPE情報

製品名

個別番号

製造年

購入日

初回使用日

製造者: Petzl, ZI Cidex 105A - 38920 Crolles - France



異常なし (G)



注意が必要 (TM)



修理が必要 (TR)



使用不可、廃棄 (R)

N/A

該当なし

1.製品履歴の把握

使用状況、使用中に生じた特殊な状況 (例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等):



N/A

2.予備的観察

- ・ 個別番号と CE マークが付いていること及び判読できることを確認してください。
- ・ 耐用年数が過ぎていないことを確認してください。
- ・ 新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

3.可動サイドプレートの点検

- ・ 可動サイドプレートおよび補助ブレーキの状態 (傷、変形、汚れ、ひび、摩耗など) を確認してください。
- ・ アタッチメントホルダーの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。
- ・ 可動サイドプレートが適切に開閉することを確認してください。可動サイドプレートに変形やゆるみがないことを確認してください: カムの軸の頭がサイドプレートの内側に入ってしまう場合は、その製品の使用を中止してください。

4.固定サイドプレートの点検

- ・ アタッチメントホルダーの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。
- ・ 補助アタッチメントホルダーの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。
- ・ 固定ブレーキプレートの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

5.ラチェット式ホイールの点検

- ・ ラチェット式ホイールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。
- ・ ラチェット式ホイールのクリック音を数えてください: 1 回転する間に「カチッ」という音が 36 回聞こえる必要があります。
- ・ 可動ブレーキプレートの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

可動式ブレーキプレートの動きとスプリングの効き具合を確認してください。

6.ハンドルの点検

- ・ ハンドルの状態 (傷、変形、ひびなど) を確認してください。
- ・ ハンドルのスプリングの戻りを確認して下さい。

7.機能確認

- ・ 器具を低い高さの支点に設定し、ロープに荷重を吊り下げます。適応する複数の径のロープ、または通常使用するロープを使用して機能確認を行ってください。ホーリングの際のロープの流れが適切か、ロック機能が適切か、ハンドルを操作して荷重を降ろすことができるかを確認してください。

コメント (確認された不具合や取られた処置について詳しく記入してください)

評価

使用を継続することができる

使用を継続することができない

点検者

団体名

日付

次回点検日